



2022-1 次隊 岡崎 友里

マダバの魅力を伝え隊！②

今回は「モザイク画」について、ぎゅぎゅっと内容を絞りつつも、じっくりと紹介していきます！

さて、私が暮らすマダバは、モザイクの街として有名です。「モザイクって何？」については前号 (No.43) を参考にしてください。簡単に言うと、小さな破片を組み合わせて、いろいろな絵や図を作り上げていくのです。世界には様々な材質でのモザイクによる芸術作品があります。その中でも、マダバでのモザイク画に使われている材質は、「石」です！石を一体どうやってあんなにもきれいな絵や図にしていくのか…その作り方についてもお伝えします♪

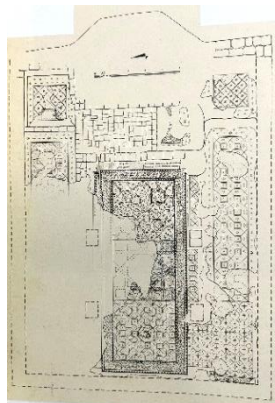
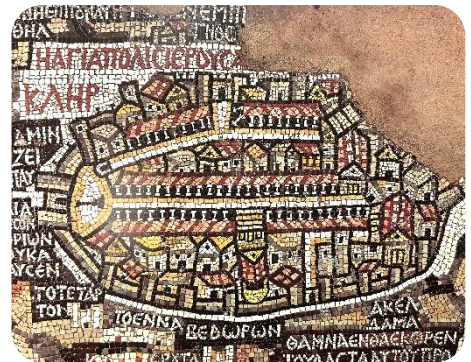
ではまず、モザイクというのはいつからあるのでしょうか？



モザイクの歴史

モザイクのはじまりはとてとても古く、紀元前3000年、今から約4000年前（日本は縄文時代くらい）にさかのぼると言われています。最初は自然の石を使っていたとされ、時代が進むにつれて石を削ったり切ったりする加工技術が広がることで、より複雑で細密な表現が可能になったと言われています。そのため、何（題材）をどのように表現しているか（表現方法）によって制作された時期を推測することができます。

4～6世紀にかけて、キリスト教の広まりとともに、教会が多く建てられるようになり、キリスト教を主題とするモザイク画が作られるようになります。前号で紹介した教会のモザイク地図もこのころ制作されたものとされています。また、このころのモザイク画はローマ時代のスタイルから徐々に異なる独自のスタイルへと確立した時期でもあります。それまで補強も兼ねて床へ施されていたモザイクが、壁（壁画）へと施されるようになり、表現の舞台も変わっていきます。そして、当時主流だった大理石からズマルトと呼ばれるモザイク用に製造された色ガラスや金箔を混ぜた石に変化し、現代にも続くスタイルが確立されました。



しかし、現代に至るまでにイコノクラスムという「偶像（宗教上の象徴物、イメージやモニュメント、または政治的なモチーフなど）を壊すこと」を行う人々が現れ、歴史的モザイク画が破壊されるという時代を経験し、衰退した時期もありました。発見されるモザイク画に破損が見られるのは、風化や浸食だけではなく、破壊されたという背景も考えられるのです。にもかかわらず、1000年以上経った今も当時とほとんど変わらない制作技法と技術が受け継がれているのですから、驚きです。



ヒタームさん



モザイク画作りにハマリ、工房へ通っているうちに仲良くなりました。アラビア語やイスラムの文化について教えてくれ、その他のことも色々相談ができる友達です。

さて、そんなモザイク画、私も挑戦しました！教えてくれたのは、ヒタームというこの道20年の職人さんです。正直、「石を切って埋め込むだけでしょ。パズルや貼り絵みたいにすぐできる。」と思っていたら…大間違い！！まずは石を切るところから一苦労…石の種類によって硬さが異なり、硬度の高いものは一つのパーツ（テッセラと呼ばれる四角い小片）を切り出すのに手が痛くなりました。そして、切り出したテッセラを並べていくのですが、これがまた難しく、隙間のできないように敷き詰めたのに、なかなか思い通りの形に石を加工できず、ぴったりに埋まらないのです…。見かねたヒタームが「こうやってこうやって…」と爪を切るかのようにパチンパチンと石を切ると、ちょうどその空間に入る形になっているのです。さすがの職人技に脱帽です。

せいさくほうほう 制作方法

準備：完成予定の図や絵を左右

反転させ、布に転写しておきます。

①細長い棒状に加工

された石を専用の
道具で切ります。

②切り出した欠片を接着剤で布に貼りつけます。

③枠の大きさや形に合わせて石を可能な限り隙間がないように敷き詰めます。

④枠にセメントを流し込み、布のある方が上になるように、ひっくり返してはめ込みます。

⑤布の上から水を含ませたスポンジで優しくこすり、接着剤を溶かして石から布をはがしていきます。

⑥布が無くなった面を平らにならし、セメントが乾いたらニスを塗って完成です。

※制作方法はいくつか種類があります。



ヨルダンを訪問する時は、モザイクを体験しに私の工房へ来てください♪

マダバで一番安い価格で提供します！

この木、何の木？マダバの木！

「マダバ」という街の名前の語源は、アラム語（シリア語）に由来し、「ミア ダビア」という2つの言葉で構成されていました。1つ目が「水」、2つ目は「果物」を意味します。（※ヨルダン内務省HPより）かつてのマダバは豊かな土地、水に恵まれ、ザクロやぶどうといった果物が豊富に実っていました。その木々をモザイク画で表現したのが「マダバの（ザクロとぶどうの実をつけた）木」というわけです。今では土地が乾いてしまい、昔の街の姿からは変化しましたが、「マダバ」と呼ばれる所以がモザイク画として形に残っています。



接続に使う文字

ميا دأبيا

読み：アビア 読み：ミア
意味：果物 ↓ 意味：水

مادبا

読み：マダバ

Let's talk in Arabic ♪

今回紹介したモザイク…アラビア語で言ってみましょう♪ちなみに、調べてみると、モザイクの語源はギリシャ神話の9人の女神ムーサイ（Mousai）にあるそうです。ラテン語で「オプス・ムシウム（opus musivum）」から派生してフランス語のモザイク「mosaïque [mozaik]」、そして英語へと広く浸透したようです。（※フランス語はラテン語が変化してできた言語だと言われています。）

気になるアラビア語の表し方は、右のようになり、「フセーフサー」と読みます。最初聞いたときに、フランス語や英語とはかけ離れているじゃないか!!と正直驚きました。そして、なかなかこのアラビア語が覚えられないときに「モザイク」と言って通じることがありました。「じゃあ、もうアラビア語じゃなくてもいいじゃん。」と思ったそのあなた！「ヤッラー！」を読んでくださっているからこそ、せっかくならアラビア語での言い方をぜひ覚えてほしいのです。そして、ぜひ使ってみてください！

فسيفساء

読み方：フセーフサー

では、また次回! مع السلامة